

日本感性工学会大会にて優秀発表賞を受賞

ポーラ化成

ポーラ化成工業は、神経美学研究と8K映像技術を融合し、魅力認知の解明に向けた研究を推進している。研究成果の一部は2023年11月20〜22日に開催された第25回日本感性工学会大会にて発表され、優秀発表賞を受賞した。現在は、プロダクトやサービスへの展開を見据えたさらなる研究に取り組んでいる。

神経美学とは、認知神経科学の新しい分野であり、美的体験の認知プロセスを脳計測や心理実験といったアプローチで研究する学問。美しいものを見たときの脳機能や、どういったものを美しいと感じるのか、といった感性についての研究は、プロダクトやサービスの感性価値の理解、向上につながる。

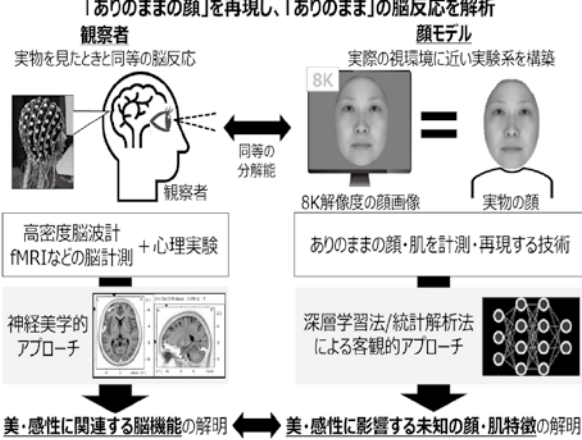


図 神経美学と8K映像技術を組み合わせた研究の概略

顔の認知研究では、ディスプレイ上に表示した顔画像を被験者が観察する手法を用いるが、従来の研究で用いてきたディスプレイと顔画像の解像度

の組み合わせでは、ヒトの目の解像度の1/10程度にとどまり、実際の視環境とは大きく乖離していることが課題だった。顔の魅力を感じる認知機構をありのまま深く理解するために、日常生活で接する「ありのままの顔」を、実験上の視環境でも再現することが必要ことから、高精細な8K映像技術を用いて構築した視環境と神経美学研究を組み合わせることで、従来の研究では捉えることができなかった「魅力を感じる認知メカニズムの解明」につながるという。

化粧品塗布時の感情変化の可視化で表彰

丸善製薬

丸善製薬のコメ発酵液は、世界的化粧品アワードである「BSB Innovation award 2024」の最も革新的な機能性原料部門（乳化剤、多機能性ベース原料）で2位を受賞した。なお今回の受賞により6年連続、日本企業最多の累計8品目の受賞を達成した。

同社では、2006年を含み、肌に潤いを与えより発酵技術を活用した化粧品原料の研究開発を行い、機能性ベース水と原料で、安全性の科学的な確認の下、医薬部外品添加物として承認されている。

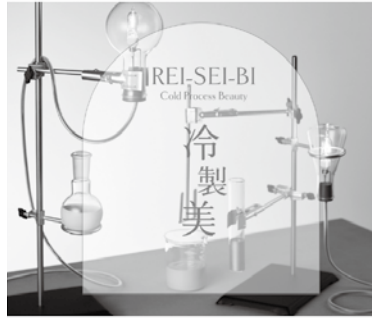


Make-Up Bar awardでbronze賞を受賞

日光ケミカルズ

日光ケミカルズは、4月16日からフランスのパリで開催された「inco smetics Global 2024 of the Make-Up Bar award (メイクアップ処方部門)」でブロンズ賞を受賞したことを報告した。

受賞した「冷製美 (REI-SEI-BI)」は、製剤を調製する際の乳化や分散において加熱がいらぬ、エネルギー使用を抑えたコールドプロセス製法で作られたスキンケア・メイクアップのコンセプト処方であり、使用感に優れた3つの製剤（ジェル、クリーム、パウダー）を、キー原料に使用した。同社の乳化剤や分散剤などを、キー原料に使用した。同社の乳化剤や分散剤などを、キー原料に使用した。



Make-Up Bar awardの受賞は、原料の安定的な供給をはじめ、化粧品処方開発支援などのソリューション提供を引き続き行っていく。

共同研究講座を設置

岐阜大学

フォーデイズ

核酸栄養の健康食品・化粧品を販売するフォーデイズは、岐阜大学との共同研究講座「フォーデイズ核酸・ペプチド・タンパク質共同研究講座」を設置した。

同社は、岐阜大学 長岡利氏（RPR）を同定し、その共同研究にの成果は科学雑誌に掲載され、2023年に特許を取得した。「フォーデイズ核酸・



ペプチド・タンパク質共同研究講座」では、この共同研究を進展させ、核酸とタンパク質、特にプロタミンペプチドとの相互作用に着目し、さらなる研究を行っていく。大学との共同研究講座設置は、東京農工大学との共同研究講座「フォーデイズ次世代核酸研究講座」に続き2講座目となる。

BSB Innovation awardは、欧州の化粧品コンサルティング会社BSB社が選考し、化粧品原料と最終製品に授与される。一般化粧品部門、ナチュラル化粧品部門がありそれぞれ表彰される。今年で22回目となる化粧品業界で歴史ある賞に位置づけられている。